

成功事例

ソリッド工具製造会社、リソース再編とPeopleSoftのアップグレードを制御

Kyocera SGS Precision Tools

会社概要： Kyocera SGS Precision Tools (KSPT) は、金属加工、自動車、および航空宇宙産業用のソリッドカーバイド製精密回転切削工具の大手総合メーカーです。

業種： 製造業

所在地： 本社所在地は、オハイオ州マンローフォール。世界中に保守施設、倉庫、営業所を置く

売上高： 7,900万ドル (約790億円)

従業員数： 360人

アプリケーション： PeopleSoft FinancialsおよびSupply Chain Management (FSCM) 9.0 Bundle 37 (AR、AP、Billing、GL、Manufacturing、Purchasing、Inventory、Order Management、Supply Planning、Costing、およびProduct Configuratorの各コンポーネントを含む)、PeopleTools 8.51.18

オペレーティングシステム： Windows Server 2003 R2



「PeopleSoft 9.2へのアップグレードに時間とコストをかけることを正当化するほどのメリットは見られませんでした。また、オラクルのクラウドへの移行時期も曖昧なため、少なくとも2、3年は真剣に検討することはないでしょう」

Steve Cochrane氏
ITディレクター
Kyocera SGS Precision Tools

KSPTの高精度ミル、ドリル、ルーターは世界中の生産性を向上させています。同社はPeopleSoftを活用して社内の生産効率を向上させています。

課題

Kyocera SGS Precision Tools (KSPT) 社は、PeopleSoftを使用して、同社の製造、サプライチェーン、注文管理、経理など、人事を除くほぼすべての部門を管理しています。IT担当ディレクターのSteve Cochrane氏は次のように語っています。「小規模な会社にとって大きな存在となっているこのチームは、PeopleSoftユーザーグループとして、我々と同じ数のモジュールを運用している組織の中でもおそらく最小の組織でしょう。スタッフの人数は自分を含めてわずか4人です」。

PeopleSoft 9.0アプリケーションは安定しており、KSPTの日々のビジネスニーズを満たしています。2013年にオラクルがPeopleSoft 9.2をリリースしたときも、Cochrane氏の心が動かされることはありませんでした。「PeopleSoftユーザーグループの集まりに参加すると、現在PeopleSoftを運用している製造メーカーの数はほんの一握りであることが分かります。それを考えると、今後、オラクルが製造業向けにPeopleSoftの機能強化を図ることはないと思われます。PeopleSoft 9.2へのアップグレードに時間とコストをかけることを正当化するほどのメリットは見られませんでした。また、オラクルのクラウドへの移行時期も曖昧なため、少なくとも2、3年は真剣に検討することはないでしょう」。

2013年は製造業にとって厳しい年でした。コスト削減を検討するなかで、KSPTは、ERPのアップグレードで新たなコストを生むことをよしとはしませんでした。また、ITチームにはもっと差し迫った問題がありました。KSPTがビジネスの一部を売却し、インディアナ州で別のビジネスを買収したため、Cochrane氏のチームは新たに買収された会社にPeopleSoftを展開することに重点を置いていました。

コスト削減の要請に従い、Cochrane氏は、PeopleSoftの年間保守費用をはじめ大規模に発生するIT予算の項目を精査し、実際のサポートニーズの評価を行いました。「PeopleSoftのサポートをオラクルに要請することはほとんどありませんでした。依頼することがあった場合も、ほとんどの作業は自分たちで行っていたようでした」。Cochrane氏は、PeopleSoftアプリケーションを確実に運用するためにサポートの必要性を認識していましたが、オラクルの高額な年間保守費用を支払い続ける価値はほとんど見られませんでした。

メリット

- 極めて迅速なサービスによりリソースを解放：カスタマイズされたコードもサポートされるため、ITチームは、問題への対応や解決ではなく重要なプロジェクトに集中できる。
- 高価な上、工数の掛かるアップグレードを回避：ソフトウェアのアーカイブを管理下に置くことで、将来ビジネスでの必要性に応じてアップグレードできる。
- アップグレードを柔軟に制御：必要になるまで問題なくPeopleSoft 9.2リリースをアーカイブできる。

「独立したサポートは柔軟性のある選択肢です。それまでの間、既存のERPシステムの強化を進めながら、引き続き最高のサポートが得られると確信しています」

Steve Cochrane氏

ITディレクター

Kyocera SGS Precision Tools

詳細情報

Kyocera SGS Precision Tools社の詳細またはその他の成功事例については、www.riministreet.com/jp/clientsをご覧ください。

ソリューション

年間保守費用の交渉でオラクルが難色を示したため、KSPTは独立系の保守サービスプロバイダーを調査し、2013年10月にサポートをリミニストリートに切り替えました。その結果、KSPTはベンダーによる従来のサポートコストを即座に50%削減し、エンジニアの専門家チームから24時間365日のサポートを受けられるようになりました。

さらに、KSPTは、オラクルのサポート契約を解約する前に、オラクルからライセンス取得済みのPeopleSoft 9.2のソフトウェアをアーカイブしました。このアーカイブ一式を管理下に置くことで、ビジネスでの必要性に応じてソフトウェアをアップグレードできます。Cochrane氏は次のように説明します。「すぐにアップグレードするほどのメリットは見られませんでした。だからこそ、リミニストリアートの協力を得てバージョン9.2をアーカイブしたのです。将来はバージョン9.2の機能を利用したいと考えていますが、目下のところ我々が時間を割き、注意しなければならない買収やビジネスの動きがあります。それまでの間、リミニストリートがカスタマイズされたコードも含めてサポートしてくれるため、時間をかけてPeopleSoft 9.0に手を加え、独自のものにしていくことができます。実際、この新しいサポートモデルによって自由に私たちが常に望んでいたやり方で仕事を進め、変更を加えることができます。これは、最新のパッチの影響を受けずに済むということもありますが、カスタマイズ部分についてサポートを受けられないという足枷がなくなったことが理由です」。

結果

ITチームはほとんどサポート問題の対処に追われ、軽微な問題であっても24時間365日のサポートが必要でした。「スタッフたちには、いつもPeopleSoft自体の問題解決に深くかかわるのではなく、他の問題も分析してもらう必要があります。たとえば変更管理に関わる問題については、リミニストリートに対処を任せてもよいとスタッフたちも思うようになりました。そうすれば、経理や在庫管理などの部署の各担当者に、現時点では社内システムでITヘルプチケットを発行してもらっていますが、将来的にはリミニストリートに直接サポートを求められるようトレーニングしたいと思っています」と、Cochrane氏は説明します。

「サポートの観点で言えば、オラクルからサポートを受けるときの面倒さに比べると、リミニストリアートのサポートに頼るほうがはるかに簡単です。リミニストリートとのコミュニケーションは、当初からすべて非常に活発でした。何か問題が起きれば、いつでも相談できるのです」。

Cochrane氏は次のように述べています。「独立したサポートは柔軟性のある選択肢です。“最新かつ最高”のPeopleSoft 9.2へのアップグレードを1年または2年先に延ばすことができます。それまでの間、既存のERPシステムの強化を進めながら、引き続き最高のサポートが得られると確信しています」。

日本リミニストリート株式会社

〒163-1030 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワーN30階

電話:03-5326-3461 FAX:03-5326-3001

contactjp@riministreet.com www.riministreet.com/jp

©2016-2017 Rimini Street, Inc. All rights reserved. Rimini StreetおよびRimini Streetロゴは、Rimini Street, Inc.の登録商標です。その他すべての名称は、それぞれの所有者の商標です。